

# 六日 東洋時報

編輯室發行人 関田弘成  
福島縣石城郡平野町新屋町  
印 刷 所 加納活版所  
福島縣石城郡平野町新屋町  
發 行 所 燐城時報社  
一部金武銭一ヶ月金付  
廣告料行書字話合五十錢  
▲日刊 (日曜、祭日休刊)

## 磐銀事件公判開く 井上・色川、佐藤三被告の 事實審理緊張裡に開始 機部辯護士等列席

縣會議員平野町會議長平野消防組頭  
大日本消防協會理事井上茂作氏  
を中心とし内郷村消防組頭佐藤三郎  
三郎三氏に係る破産磐銀をめぐる贈收賄事件の第一回公判は今  
六日午前十時から平支部公判廷に於いて金裁判長三郎が開廷を宣せられた。金裁判長三郎は被告にそれく住所職業等型の如き取調べ、清田檢事立つて起訴事實を述べ愈々色川・佐藤・三氏の辯護士十數名列席の下に開廷を行つた。辯護士は金裁判長三郎に立証をされたもの、色川・佐藤兩氏は謝禮として贈つた事實が果して

圓の賣買を決定したのに對し井上氏が被告色川・佐藤兩氏を説得二十圓五十錢を以つて賣買成

立を見たもの、色川・佐藤兩氏の傍聴者に占領される程の盛況を見ても如何に遅れてゐるかで頗る好評。

右について中山試験長は語る。本縣の遠洋漁業といへば主にマグロ、鰐、秋刀魚であるが丸、寶歲丸の僅三隻で、これを見ても如何に遅れてゐるかで頗る好評。

平町四丁目伊勢屋商店では此の程透明障子紙の福島、宮城

茨城、栃木四縣下手販賣權を獲得發賣を開始したが賣行良好

が多いためでどうしても挽回せねばならない。磐城丸が

は四月中旬には出動すべきで從來は一ヶ月もおくれてゐたものである。これは本縣が沿岸漁業にのみ力を注ぎ遠洋漁業に自覺しなかつた結果で甚だ遺憾と

されており試験場では今年からあらゆる方法を講じ大々的に遠洋漁業の發達を期す筈である。

神谷縣試分場では縣下各地で生産される南瓜は廣く大形のものが小形南瓜が歓迎される傾向がある。それで本年からは此の需要に備えて小形南瓜の栽培を奨励する

事になり直ちに品種の改良試験を開始する爲め全國各地の南瓜生産地から小形南瓜の種子二十

種が送り込まれた。そこで各處に於ける試験結果は注目されてゐるが本稿で切りまでは色川氏の如くである。

商品としては化粧も必要

需要に應じて神谷分場が

小南瓜の栽培獎勵

に觀ふ事が出來る。殊に船員の技術も著しく劣つてゐる

で充分の能力を發揮する事が出來ないので遺憾である。これは沿岸漁業に全力を集中してゐたためでどうしても挽回

されねばならない。磐城丸が

は沿岸漁業に全力を集中してゐたためでどうしても挽回

されねばならない。磐城丸が

は沿岸漁業に全力を集中して

されねばならない。磐城丸が

